

みずほCustomer Desk Report 2018/10/16 号(As of 2018/10/15)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	112.00
TKY 9:00AM	112.22	1.1551	129.62	GBP/USD	0.7106
SYD-NY High	112.38	1.1606	129.80	AUD/USD	0.7149
SYD-NY Low	111.63	1.1535	129.14		0.7099
NY 5:00 PM	111.75	1.1580	129.40		0.7131
NY DOW	25,250.55	▲ 89.44	日本2年債	-0.1200	0.00bp
NASDAQ	7,430.74	▲ 66.15	日本10年債	0.1400	0.00bp
S&P	2,750.79	▲ 16.34	米国2年債	2.8551	▲ 0.40bp
日経平均	22271.30	▲ 423.36	米国5年債	3.0090	▲ 1.19bp
TOPIX	1675.44	▲ 27.01	米国10年債	3.1548	▲ 1.13bp
シカゴ日経先物	22,300.00	▲ 290.00	独10年債	0.4975	0.20bp
ロンドンFT	7,029.22	33.31	英10年債	1.6075	▲ 2.40bp
DAX	11,614.16	90.35	豪10年債	2.6970	▲ 4.55bp
ハンセン指数	25,445.06	▲ 356.43	USDJPY 1M Vol	7.18	0.11%
上海総合	2568.0984	▲ 38.81	USDJPY 3M Vol	7.25	0.03%
NY金	1,230.30	8.30	USDJPY 6M Vol	7.80	▲ 0.02%
WTI	71.78	0.44	USDJPY 1M 25RR	-1.15	Yen Call Over
CRB指数	199.74	1.80	EURJPY 3M Vol	9.13	0.00%
ドルインデックス	95.06	▲ 0.16	EURJPY 6M Vol	9.49	▲ 0.11%

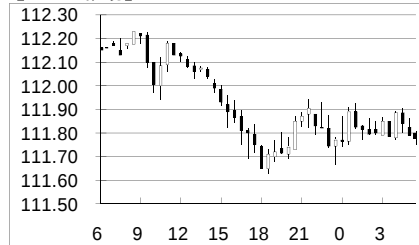
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月15日	13:30	日 鉱工業生産(前月比)・確報	8月 0.2%	-
	13:30	日 鉱工業生産(前年比)・確報	8月 0.2%	-
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	10月 21.1	20
	21:30	米 小売売上高速報(前月比)	9月 0.1%	0.6%
	21:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	9月 -0.1%	0.4%

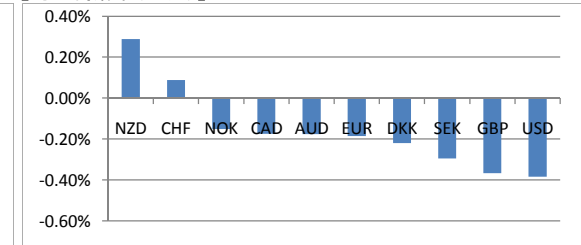
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月16日	10:30	中 PPI(前年比)	9月 3.5%	4.1%
	10:30	中 CPI(前年比)	9月 2.5%	2.3%
	17:30	英 週平均賃金(除賞与/3ヵ月/前年比)	8月 2.9%	2.9%
	18:00	独 ZEW調査(現状/期待)	10月 74.4/-12.0	76.0/-10.6
	18:00	欧 ZEW景気期待指数	10月 -	-7.2
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	9月 0.2%	0.4%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.30-112.30	1.1500-1.1650	129.00-130.00

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は上値の重い展開となった。アジア時間の株価の軟調推移やムニューシ米財務長官の日本に対する為替条項導入警告等を背景に一時111.63まで下落。その後は米9月小売売上高や米10月ニューヨーク連銀製造業景気指数の結果発表前後の荒い値動きの中、111.94まで戻す局面もあったが、株価の動向に対する警戒感が拭いきれない中で上値は重く111.75レベルでクローズした。本日のドル円相場は引き続き上値の重い推移を予想。先週と比較して株価の動向は落ちつきつつあるものの、ドル円は112円台を回復できず。米国の日本に対する為替条項導入やBrexitの先行きに対する不透明感が意識される中、リスクセンチメントが大きく改善することは難しく、上値を抑える要因となるだろう。

東京	東京時間、112.22レベルで取引を開始したドル円は13日にムニューシ米財務長官が日本に対して通貨安誘導を防ぐための為替条項を求めていく意向を示したことが意識されると日経平均株価が軟調推移する中、ドル円は111.94まで下落。しかしすぐに112円台を回復し、112.19まで反発。後場に入ると日経平均株価が上値重く推移する中、ドル円はじりじりと下落し、111.89レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、111.89レベルでオープン。東京時間の流れを引き継ぎ上値の重い推移が続き、じりじりと下値を切り下げる展開に約1ヶ月ぶりの水準である111.63まで下落。その後、欧州株が全般的に堅調推移となったこともあって、下げ幅を縮小させる展開に111.90までレベルを戻して111.88レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1556レベルでオープン。主要国マーケットが株高債券安で推移したことを背景にリスクオフの巻き戻しとなる中、ユーロは買い進まれる展開。1.1582レベルでNYに渡った。(ロンドンツールフリー 00531 444 179 19)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、ムニューシ米財務長官の日本に対する「為替条項」導入警告や来年10月の消費税10%への引き上げ表明、サウジアラビアを巡る緊張、ブリジットへの警戒感などを背景に約1ヶ月ぶりとなる111.63まで下落したものの反発し、111.88レベルでNYオープン。NY朝方発表の米9月小売売上高は、ヘッドラインは予想比下振れしたが、コアベースでは市場予想・前月共に上回り、また同時に発表された米10月ニューヨーク連銀製造業景気指数は予想比上振れと強弱入り混じる結果、ドル円は発表前後に乱高下し111.94まで上昇したが、長くは続かず、オプションカドに向けて111.67まで下落。その後、米金利の上昇を横目にドル円も111.92まで上昇するが、NY朝方の高値を上抜けることは出来ず、NY午後は111.80-90の狭いレンジで方向感なく推移し、111.75レベルでクローズ。NY午後2時に発表された米財政赤字では、2018年会計年度の財政赤字は、6年ぶりの高水準を記録(3年連続で拡大)したことが明らかになったが、相場への影響は限定的。この日、イエレン前FRB議長は、「大統領がFRBの政策についてあらかじめコメントするのは望ましくない」との見解を示した。一方、ドル売り優勢の展開に海外時間に1.1600まで上昇したユーロドルは1.1582レベルでNYオープンし、1.1606まで上昇したが、イタリ財政への懸念や、北アイルランド国境問題で未だ合意を得られずにいるブリジット交渉への懸念を背景に徐々に下落し、1.1580レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 森谷・田家